

令和8年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 12校

令和7年8月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
公立	旭川市立大学	地域創造学部 地域創造学科	100	北海道旭川市	公立大学法人 旭川市立大学	○本学部は、旭川市の課題と基本目標を踏まえ、データサイエンス教育を基礎にして地域と連携したPBLを行い、地域における課題を解決していくための実践力を培うことを目指していることから、大学の学問的な観点から地域に対する貢献ができるよう、学生、地域社会等から認知されるように周知に努めること。 【遵守事項】 ○学部、学科及び学位の名称に「地域創造学」を掲げることにについて、その目的・趣旨等が社会に広く認知されるように、学生や社会に対して丁寧な周知を行うこと。 【遵守事項】 ○「PBL基礎科目」については、本学部の「地域創造学」に関する教育を実施する上で重要な授業科目が含まれていると考えることから、主要な授業科目については基幹教員の配置が望ましい。 【助言事項】 ○高校訪問や地域へのPR活動など、学生確保に向けた取組を着実に実施するとともに、入学者選抜の志願状況及び入学状況を踏まえた詳細な調査・分析を行うなどにより、学生募集活動について不断の検証・改善を図ること。 【遵守事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】	
1							

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
2	(東北公益文科大学)					○令和5年度、令和6年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。 【助言事項】 ○令和4年度から完成年度にかけて、法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態となっていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 【助言事項】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、流動比率、繰越収支差額構成比率） 【助言事項】 ○監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を作成し、計画どおり着実に実施すること。 【遵守事項】 ○長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、新設組織に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むとともに、学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。 【遵守事項】 ○関係法令の遵守及びガバナンス機能の強化等、理事長をはじめとした構成員が果たすべき役割を十分に認識した上で、法人運営を行うこと。 【遵守事項】	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
3 私立	共愛学園前橋国際大学	デジタル共創学部 デジタル共創学科	100	群馬県前橋市	学校法人 共愛学園	○授業科目「Research ProjectⅠ」、「Research ProjectⅡ」及び「Issue-Based Research Project PBL」について、課題解決を目指した新たな価値を創造する共創を実践することを前提とした授業科目であることを学生が適切に理解した上で履修することができるよう、「シラバス」の改善を含め、十分に周知すること。 【遵守事項】 ○「フードデータサイエンス」及び「ヘルスデータサイエンス」等の授業科目における「必修」及び「選択」の別について、学生が理解した上で履修することができるよう、適切な履修規程、履修モデル等により周知すること。 【遵守事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 【遵守事項】 ○法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態で継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 【助言事項】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率） 【助言事項】 ○学生等の募集を停止予定の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（共愛学園前橋国際大学短期大学部生活学科） 【遵守事項】	国際社会学部 国際社会学科 国際社会専攻〔定員減〕 (△49)

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	平成国際大学	情報デザイン学部 情報デザイン学科	100	埼玉県加須市	学校法人 佐藤栄学園	○養成する人材像に掲げる「数理・データサイエンス・AIの知識と技能を活用し、DXを通じて社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する」ために、日本社会が直面している重点分野として6分野（農業、環境、スポーツ・健康情報、経営・マーケティング、文化情報、国際関係）を設定していることから、養成する人材像と6分野の関係性について学生が正しく理解できるよう、重点分野の設定理由を含め、十分に周知すること。 ○重点分野のうち、「スポーツ・健康情報」及び「文化情報」については、特定のテーマ等に絞った科目を配置しているが、重点分野の設定理由である、健康寿命の延伸や地域ブランディング及び観光振興を促進することや、本学部の養成する人材像に掲げる「課題を実践的に解決できる」能力を養成するための教育課程であることを学生が十分に理解した上で履修できるように適切に周知するとともに、授業科目内容の充実に努めること。 ○本学部の特徴である原則4カ月の「社会実装実習（インターンシップ）」について、「DXを通じて企業や地域社会等が直面する諸課題を実践的に解決する」能力養成のための最重要科目の一つとして位置付けられており、「学内の学修だけでは得られない能力・知識・経験を獲得するために、4カ月（16週間）就業実習を行うもの」とする計画であることを踏まえ、いずれの受入先企業等であっても、「学則」第27条の規定に基づき16単位を授与するのに十分な学修時間を確保するとともに、実習水準を確保しつつ継続的に実施できるように受入先企業等の維持・開拓に努めるなど、適切に運営すること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。 （平成国際大学法学部法学科）	法学部 法学科〔定員減〕 （△100）

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	文京学院大学	ヒューマン・データサイエンス学部 ヒューマン・データサイエンス学科	110	東京都文京区	学校法人 文京学院	○「ヘルスケア」、「地域づくり」及び「異文化間コミュニケーション」の3つのドメインについて、ドメイン設定の趣旨がより明確になるよう、授業科目及び教員の研究テーマとの関係を整理し、学生や社会一般に対して分かりやすい周知に努めることが望ましい。 【助言事項】 ○ビジネスに関する授業科目を「プロジェクトマネジメント」区分の中に位置付ける趣旨を踏まえれば、「経営学基礎」区分において、「組織管理論」を学修する授業科目などの充実を図ることが望ましい。 【助言事項】 ○工学関係の学位プログラムの質を担保するため、基幹教員で構成される「情報教育委員会」を設置し、データサイエンスに関連する授業科目や卒業研究の運用、授業内容の質の維持、学生の成績評価等について一元的に管理を行う体制を整備する計画だが、入学定員110人に対し、「情報教育委員会」は6人の体制であることから、当該基幹教員への過度な負担にも配慮しつつ、工学関係の学位プログラムの質を担保するために十分な機能を発揮できるよう、体制の拡充、運用方法の工夫を講じること。 【遵守事項】 ○「異文化間コミュニケーション」ドメインに関する教育課程について、宗教、教育及びメディアを通じて学修する計画だが、当該ドメインの趣旨を踏まえれば、語学教育などからのアプローチも検討することが望ましい。 【助言事項】 ○入学者選抜において「数学」及び「情報」を必須科目として課さず、本学部の教育課程を学修する上でこれらの素養を段階的に育成するカリキュラムと支援体制（入学前教育、基礎学力テスト、リメディアル科目、初年次科目など）を整備する計画だが、本学部は文系的な素養を持つ学生の積極的な受入れを想定していることから、当該計画の効果検証を実施するとともに、その結果を踏まえ必要に応じて入学者選抜方法の見直し等の検討を行うなど、不断の改善に努めること。 【遵守事項】 ○入学者選抜において「数学」及び「情報」は必須科目ではないが、本学部の教育を受けるために必要な素養であることを入学志願者に対して示すとともに、「数学」及び「情報」を試験科目として選択することを推奨するような広報をすることが望ましい。 【助言事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】	・「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく特定地域内学部収容定員増抑制の除外規定の適用による特例

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
5	(文京学院大学)					○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。 ○外国語学部英語コミュニケーション学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【遵守事項】 ○人間学部児童発達学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【遵守事項】 ○人間学部人間福祉学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【遵守事項】 ○会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序（令和7年度補正予算、中期計画の策定）】 【遵守事項】 ○令和4年度から完成年度にかけて法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 【助言事項】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率） 【助言事項】 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（文京学院大学外国語学部英語コミュニケーション学科、人間学部児童発達学科、人間学部人間福祉学科） 【遵守事項】 ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（文京学院大学人間学部コミュニケーション社会学科） 【遵守事項】 ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。 【助言事項】 ○長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、新設組織に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むとともに、学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。 【遵守事項】	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	学習院大学	国際文化交流学部 日本文化学科 (3年次編入学定員) 国際コミュニケーション学科 (3年次編入学定員) 英語コミュニケーション学科	140 5 170 5 45	東京都新宿区	学校法人 学習院	○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率） ○二以上の大学等を設置する学校法人が、一の大学等もしくは学部等を廃止して、一定の要件の下、当該学校法人が設置する他の大学等に学部等を設置する場合の特例を適用することから、学習院女子大学については、計画どおり廃止すること。	【遵守事項】 ・「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく特定地域内学部収容定員増抑制の除外規定の適用による特例 【助言事項】 【助言事項】 【遵守事項】
6							

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	大正大学	情報科学部 グリーンデジタル情報学科 デジタル文化財情報学科	60 60	東京都豊島区	学校法人 大正大学	○アドミッション・ポリシー（AP）1について、 「グリーンデジタル情報学科の教育内容を理解するために必要となる英語、数学、理科、国語、地理歴史・公民等の各教科科目について、高等学校卒業相当の知識を身につけており、高等教育を受けることができる学力が備わっている」と掲げているが、どのような学力水準が必要となるのか入学志願者や社会一般に対して伝わらない懸念があるため、明確に周知すること。（情報科学部グリーンデジタル情報学科） 【遵守事項】 ○アドミッション・ポリシー（AP）1について、 「デジタル文化財情報学科の教育内容を理解するために必要となる英語、数学、理科、国語、地理歴史・公民等の各教科科目について、高等学校卒業相当の知識を身につけており、高等教育を受けることができる学力が備わっている」と掲げているが、どのような学力水準が必要となるのか入学志願者や社会一般に対して伝わらない懸念があるため、明確に周知すること。（情報科学部デジタル文化財情報学科） 【遵守事項】 ○学生が情報科学の基礎的な知識を十分に修得できるよう、授業科目「数学基礎Ⅰ」及び「数学基礎Ⅱ」について、リメディアル教育ではなく、情報科学を学ぶための基礎科目であることが明確になるように教育内容の充実を図るとともに、授業科目「情報概論とアルゴリズム」について、情報科学の基盤となるアルゴリズムに関する内容をより一層充実させるなど、情報科学に関する基礎的な科目の充実に努めること。 【遵守事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】 ○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。	・「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく特定地域内学部収容定員増抑制の除外規定の適用による特例

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
7	(大正大学)					○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 【遵守事項】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（流動比率、繰越収支差額構成比率） 【助言事項】 ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（大正大学社会共生物学部、心理社会学部） 【遵守事項】 ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。 【助言事項】	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立 8	日本医科大学	医療健康科学部 看護学科	120	神奈川県川崎市	学校法人 日本医科大学	○本学部が看護学のみを扱う学部ではなく、看護学を基盤としながらも、医療と健康科学の広がり意識した教育研究を行う医療健康科学部とする設置の趣旨・目的等について、入学志願者等に適切に伝わるような周知に努めることが望ましい。また、教育課程についても、今後、看護学以外の教育内容をより充実させていくことが望ましい。 【助言事項】 ○新校舎において学部と研究科を同時に設置する計画であるため、開設後の運用状況を適時点検し、学部及び研究科双方の教育研究に支障が生じることがないように、適切なマネジメントに努めることが望ましい。 【助言事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】 ○遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 【助言事項】 ○開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 【助言事項】 ○未整備の規程について、計画どおりに整備すること。（情報公開に関する規程） 【遵守事項】	
私立	亜細亜大学	健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科	100	東京都武蔵野市	学校法人 亜細亜学園	○本学科が授与する学位の分野は「工学関係」及び「体育関係」であるが、学部及び学科並びに学位の名称からは、「工学関係」を含む学位を授与することが受験生や社会一般に十分に理解されない懸念があるため、学位の分野に「工学関係」を含むことについて、広報活動において適切に周知することが望ましい。 【助言事項】 ○本学部のカリキュラム・ポリシー（CP）3において「社会の多様性を理解し、異なる視点や価値観を学ぶための科目を選択必修科目に位置づける」ことを掲げていることに関して、教育課程全体において、選択必修科目以外にも多様性の理解を促す科目及び内容についてより一層の充実を図ることが望ましい。 【助言事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
9	(亜細亜大学)					○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率） ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（亜細亜大学都市創造学部都市創造学科） ○理事長及び理事と監事が現在、別法人等で上下関係にあることから、監事の増員等の計画している取組を着実に実行し、監査の独立性が確保できる環境の整備に努めること。	【遵守事項】 【助言事項】 【遵守事項】 【助言事項】

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	事業創造大学院大学	情報デザイン学部 情報デザイン学科 (通信教育課程) (3年次編入学定員)	800 200	新潟県新潟市	学校法人 新潟総合学園	○安定的・継続的な授業の実施や学生の個人情報の管理等のために、情報セキュリティの定期的な検証や必要な改善・充実を図ることにより、通信教育課程の適切な運営に努めること。【遵守事項】 ○「地域や多様な社会での協働に必要なスキルと多様な価値観・協調・リーダーシップを学ぶ科目」として配置された「DXプロジェクトⅠ～Ⅲ」は、本学部の全ての学びを集大成する授業科目として位置付けられていることから、学生がこれらの科目を学ぶに当たって、必要な知識及びスキルを修得するために必要な授業科目の履修が担保されるように、丁寧な履修指導を行うこと。【遵守事項】 ○授業科目「DXプロジェクトⅠ～Ⅲ」は、オンライン同期型のディスカッションと非同期テキストディスカッションの授業を組み合わせで行われることから、学生の学びの進捗を確認することが重要であると考えられる。そのため、授業に導入される「ブロック」ごとに設定された学修到達目標に対する学生の達成状況を把握するとともに、学生の履修指導を適切に行うこと。【遵守事項】 ○指導教員と指導補助者の連携体制及び役割分担により、学生の教育に支障のない体制の構築に努めるとともに、指導補助者の配置数は必要に応じで見直すことにより、指導体制の充実を図ること。【遵守事項】 ○「情報デザイン学部情報デザイン学科 履修系統図」について、学生が授業科目の関係性や履修順序等を理解できるよう、分かりやすい教育課程設計と情報提供に努めるとともに、適切に履修指導を行うことが望ましい。【助言事項】 ○テスト時の本人確認について、本人認証するための体制に基づき適切に実施するとともに、当該テストは成績評価の対象となる小テスト、ブロックテスト及び期末テストであることについて、あらかじめ学生に周知すること。【遵守事項】 ○学生指導や研究者の研究等に支障がないよう、研究室等の環境を充実させることが望ましい。【助言事項】 ○社会人を多く受け入れる想定であることから、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、開設年度のみならず継続的に、設置計画における収容定員に見合った学生の確保について、努めることが望ましい。【助言事項】	令和8年4月名称変更予定 事業創造大学院大学 → 開志創造大学

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
11	(近畿大学)					○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○法学部法律学科（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。 ○理事に教学関係者が少ないことから、教学側の意見が適切に反映し得る体制の構築に努めること。 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（近畿大学九州短期大学保育科） ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（近畿大学九州短期大学通信教育部生活福祉情報科） ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。	【遵守事項】 【遵守事項】 【助言事項】 【遵守事項】 【遵守事項】 【助言事項】

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	四国大学	デジタル創生学部 デジタル創生学科	100	徳島県徳島市	学校法人 四国大学	○新たに「デジタル創生学」という学問領域を掲げ、学位の名称を「学士（デジタル創生学）」とすることについて、その趣旨・目的等を学生や社会一般に対して丁寧な周知を継続的に実施し、社会に広く認知されるように努めることが望ましい。 ○本学部の教育課程の強み・特色として「情報科学と経済・経営の融合」を掲げていることから、「経済・経営」に関する素養を身に付ける教育課程を履修した学生の経済・経営的思考に関する習熟度を評価・検証することを通じて、経済・経営に関する教育課程の充実の検討を行うこと。 ○本学部は情報科学を学ぶ学部であることから、本学部の教育課程を学修する上で「数学」や「情報」の基礎的な知識が求められるものの、「文系理系を問わない学生受け入れを行う」という方針のもと、入学者選抜において「数学」及び「情報」を必須科目として課さず、入学前教育や、入学時のプレイスメント・テストによる履修指導等により「学生の基礎学力を確実に底上げし、大学での専門的学修にスムーズに移行できる環境を整備する」計画となっている。そのため、学生の教育に支障を来すことがないように当該計画の効果検証を行うとともに、その検証結果を踏まえて必要に応じて入学者選抜方法の見直しの検討を行うなど、不断の改善に努めること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○文学部国際文化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率） ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（四国大学文学部国際文化学科） ○学生等の募集を停止予定の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（四国大学経営情報学部メディア情報学科、四国大学短期大学部人間健康科、音楽科）	経営情報学部 メディア情報学科（廃止） （3年次編入学定員） ※令和8年4月学生募集停止 （3年次編入学定員は、令和10年4月学生募集停止）
12							
計	12 校	12学部 15学科					

（注）「備考」欄の（ ）書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

2 短期大学の学科を設置するもの 1校

令和7年8月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	小田原短期大学	ライフデザイン総合学科 (通信教育課程)	400	神奈川県小田原市	学校法人 三幸学園	○安定的・継続的な授業の実施や学生の個人情報の管理等のために、情報セキュリティの定期的な検証や必要な改善・充実を図ることにより、通信教育課程の適切な運営に努めること。 【遵守事項】 ○授業科目「Word演習」、「Excel演習」及び「PowerPoint演習」について、Excel等に関する基本的な操作方法の修得のみでなく、ビジネス上の特定の目的を達成するための知識・技能を身に付ける科目であることを学生が適切に理解した上で履修することができるよう、授業科目名称の変更を含めた改善を行った上で、適切に周知すること。 【遵守事項】 ○「メディア（オンデマンド）」と「メディア（リアルタイム）」を併用して行われる授業科目「コミュニケーション演習」について、当該授業科目は「チームワークやグループワークを通じた協調性を養い、問題解決能力を高める」ことを到達目標に掲げていることから、面接授業と同等以上の教育効果を実現し、到達目標を確実に達成することができるよう、授業実施方法の適切な運営に努めること。 【遵守事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 【遵守事項】 ○保育学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【遵守事項】 ○遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 【助言事項】 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（小田原短期大学保育学科） 【遵守事項】 ○赤字となっている収益事業について、その改善に取り組むこと。 【助言事項】 ○前年度に引き続き、財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は、特段の事情のない限り、所定の期日までに行うこと。 【助言事項】	
1							
計	1 校	1学科					

3 学部の学科を設置するもの 2校

令和7年8月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	芝浦工業大学	システム理工学部 生命科学課程	180	埼玉県さいたま市	学校法人 芝浦工業大学	○スポーツ工学コースの養成する人材像において、「『運動機能』の発展・拡張を通して、人々のQOL向上に貢献できる人材」が掲げられているが、「運動機能」（身体機能）だけでなく、「心理機能」の発展・拡張も通して養成することが望ましいと考えられるため、例えば、授業科目「スポーツ工学概論」のシラバスを見直す等により、科目内容の充実を図ること。 ○指導補助者として示された「ティーチング・アシスタント」及び「スチューデント・アシスタント」では、担う役割が異なると考えられることから、それぞれの具体的な役割を明確化し、適切に運用すること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。 ○評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 ○会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序（中期計画の策定）】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）	【遵守事項】 システム理工学部 生命科学科（廃止）（△115） 電子情報システム学科（廃止）（△115） 機械制御システム学科（廃止）（△90） 環境システム学科（廃止）（△90） 数理科学科（廃止）（△75） ※令和8年4月学生募集停止

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
1	(芝浦工業大学)					○学生等の募集を停止予定の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（芝浦工業大学システム理工学部電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科、生命科学科、数理科学科） 【遵守事項】 ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。 【助言事項】 ○審査の過程において、提出書類の不備が見受けられ、今後新たな組織を設置すること等も踏まえると、一層の体制の強化が必要であると考えられることから、事務処理を適切に行うための事務組織の積極的な見直しを検討すること。 【助言事項】	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	新潟医療福祉大学	医療経営管理学部 健康データサイエンス学科	45	新潟県新潟市	学校法人 新潟総合学園	○養成する人材像に対応した4つの分野ごとの履修モデルにおいて、例えば授業科目「人体の構造・機能論」を全てのモデルに共通する1年次の必修科目に位置付けているが、「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」の「資料3（カリキュラムツリー（科目分類）」）では、本科目と関連するのは健康・医療系科目及びスポーツ系科目のみとなっているように見受けられることから、授業科目同士の関係がより明確になるようにカリキュラムツリーを見直した上で、学生に対して履修指導を適切に行うこと。 【遵守事項】 ○「生体信号処理」や「人間工学」といった一般的に工学系と考えられる授業科目を「福祉系科目」として位置付けることの趣旨について、学生等に対して適切に説明するとともに、より適切な名称への変更を検討することが望ましい。 【助言事項】 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 【助言事項】 ○理事に教学関係者が少ないことから、教学側の意見が適切に反映し得る体制の構築に努めること。 【助言事項】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）	令和8年4月名称変更予定 医療経営管理学部 → 医療情報経営学部

区分	大 学 等 名	学 部 ・ 学 科 等 名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
2	(新潟医療福祉大学)					○学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。 【助言事項】 ○開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 【助言事項】 ○赤字となっている収益事業について、その改善に取り組むこと。 【助言事項】 ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に取り組むこと。 【助言事項】	
計	2 校	2学部 2学科					

(注) 「備考」欄の() 書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

4 学部における通信教育課程を開設するもの 1校

令和7年8月

[illegible]

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。